

日のハイ通信

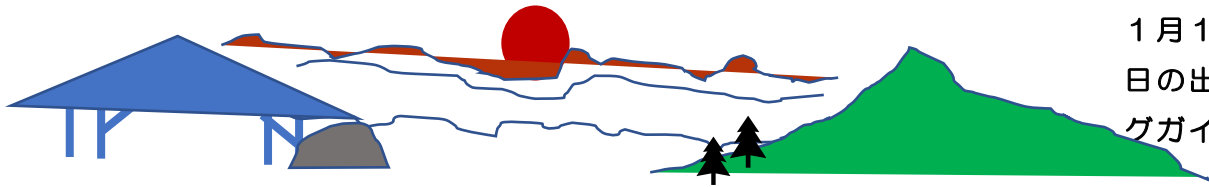
日の出山 第9号

令和7(2025)年

1月10日 発行

日の出町ハイキング

ガイドの会



さと山は光と風のハ～モニ

日の出町の原木市場



日の出町の二ツ塚峠に近い大久野地区に東京都ではただ一つの原木市場「多摩木材センター」があります。毎月10日と25日に市が開かれています。上の画像はその市の様子を伝えています。日本は国土の約7割を森林が占める（5割以上が天然林）世界でも稀に見る森林国です。昭和30年代には90%を超える木材自給率（用材部門）でしたがその後の木材自由化もあり平成12年には20%近くまで落ち込みました。最近はウッドショックの影響もあり4割ほどに回復しています。

西多摩地区の奥多摩町や檜原村の森林面積は9割を超えていて多くの森が伐採期を迎えています。2024年度に導入された森林環境税（納税者一人当たり1000円）が人工林の有効利用にどのように効果を発揮するか期待したいところです。

この画像には人工林の代表種スギとヒノキが写っています。区別できますか？

山と私

ガイド 岡部佳代

南アルプスと中央アルプスに挟まれた、信州伊那谷で育った私は、物心ついた頃から、山はすぐ身近にあった。家の前には木曾駒ヶ岳がそびえ立ち、天竜川を挟んで仙丈ヶ岳があり、田園風景が広がる、そんな場所だ。近くの高鳥谷山で練習して、霧ヶ峰で飯盒炊さんを、入笠山では御来光を見た。中学の学校登山では木曾駒を下から登った。高校は丘の上にあったので、帰り道では夕陽に染まる仙丈を飽きることなく眺めた。



伊那谷の冬の寒さは厳しい。真冬日が続いた凍てつく朝、一歩家を出ると、そこには神々しい程美しい山があった。その美しさは子供心に怖い程であった。しかし思春期に入ると、その山で隔てられた閉鎖的な土地柄がわずらわしく、地元を自ら望んで離れる事になる。山に夢中になるとは思いもしなかった。40才を目前にして同い年の友人の「富士山に登ると、人生観が変わるらしいよ」という一言からだった。旅行感覚でツアー登山に参加した。カップは間に合わせの安物、防寒着も足りず、ガタガタふるえ辛かった。気持ちが悪くて眠れず、山小屋の外へ出た時の星空や流れ星、朝の雲海は素晴らしく忘れられないが、下山では膝が笑い散々な思いをした。職場の先輩が「富士山は日本で一番大変な山だからもうどんな山でも登れるよ」と山に誘ってくれるようになった。本当にありがたい出会いだった。リクエストして、仙丈ヶ岳に連れて行ってもらった。高校通学で毎日眺めた山に、一度は登って見たかった。山頂から見下ろした、伊那の景色は心に染みた。今では故郷が大好きであり、そういった意味では富士山で人生観が変わったのかもしれない。伊那谷を囲む山は実に美しく素晴らしい。

暑い夏 私の散歩道

ガイド 石川剛

九竜山—江戸小屋山—クロノ尾山

奥多摩の地図を見ながら歩けそうな長い尾根を探していた。江戸小屋尾根の末端は多摩川に没していたのだろう。琴浦橋バス停で降りその先橋の手前で尾根を削り国道を通したのだろう、今は法面の上に落石防止のごついネットが張られている。此処に階段でも作って、指導標でも有ったらこの尾根はもっと歩かれたらと思うながら少し戻って畑地から踏跡を拾って尾根に取りついた。枯葉に足を取られながら急登こなす。九竜山の頂上は通過しそうになり、振り返ると小さな山名板が有った。尾根の右側は伐採され、御前山の東面全体が望める、地味だが見事に紅葉している。左へ目を移すと主脈縦走路、クロノ尾山そしてこの尾根が突き上げる、鞆口山。樹林帯に入ると透明感のある黄葉が暗い林に浮かび上がり連なっている。



江戸小屋山を過ぎて、鞆口山の指導標から先はしっかり整備され縦走路に出て、クロノ尾山に着いた。ベンチが有る山頂で昼食、此処は風の通り道、寒さに急き立てられ、中尾根を下る。目標は、可愛い狛犬の有る祠、広い尾根で道は落葉に隠れ、仲間のスマホに頼り進行方向を修正しながら、大ムレ山の神に着き、目的の「ほっそりして子犬をだいた」狛犬を愛でて写真も撮った。後は神戸発のバス時刻、1本逃すと寒い橋の上のバス停で待つ事になる。



「友の会」関連行事の紹介

ここでは、令和7年1月から令和7年5月にかけて『日の出町ハイキングガイドの会』が主催するハイキングと登山について紹介致します。

ハイキングは概ね半日程度の里山歩きから始め月に一回程平日に予定。また、登山についてはハイキングよりも標高差や距離がやや長めで休日に設定してあります。(歩程時間：休憩時間を除くおおよその目安です。)

どちらも日の出友の会会員の皆様から、先着順で受付け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。令和7年6月以降の計画については日のハイ通信10号(令和7年4月頃発行)に掲載予定です。

I. ハイキング(事前申し込み制)

◎ 1/16(木) 御岳山(初詣)～日の出山

JR 御嶽駅前 8:25 集合

コース 御嶽駅＝ケーブル下…滝本⇄御岳山…武蔵御嶽神社(初詣)…ロックガーデン…日の出山…つるつる温泉(歩程約4時間)

◎ 2/20(木) 浅間嶺～時坂峠～払沢ノ滝

JR 武蔵五日市駅前 8:50 集合

(冬季バスダイヤとなり日のハイ通信No.8でお知らせした集合時刻と異なっています。)

コース 五日市駅＝上川乗…浅間嶺…時坂峠…払沢ノ滝…払沢ノ滝入口(歩程約4時間)

◎ 3/27(木) 鉄五郎新道にイワウチワを訪ねる

JR 古里駅前 8:00 集合

コース 古里駅…寸庭…鉄五郎新道…平沢山…御岳山⇄滝本＝御嶽駅(歩程約4時間)

◎ 4/10(木) 青梅市の桃源郷から高水山

JR 軍畑駅前 8:50 集合

コース 軍畑駅…白石集落…上成木…高水山…高源寺…軍畑駅(歩程約5時間)

◎ 5/8(木) 新緑の小下沢林道を歩く

JR 高尾駅北口前 7:30 集合

コース 高尾駅＝陣馬高原下…底沢峠…堂所山…関場峠…小下沢林道…梅の里入口…高尾駅(歩程約5時間)

II. 登山(事前申し込み制)

◎ 1/12(日) 倉岳山～高畑山

JR 中央線梁川駅前 8:05 集合

コース 梁川駅…立野峠…倉岳山…穴地峠…高畑山…鳥沢駅(歩程約5時間)

◎ 2/24(月、振替休日) 高尾山～景信山

JR 高尾山口駅前 7:30 集合

コース 高尾山口駅…高尾山…小仏峠…景信山…小仏＝JR 高尾駅(歩程約5時間)

◎ 3/23(日) 水根～六ッ石山～奥多摩駅

JR 奥多摩駅前 7:50 集合

コース 奥多摩駅＝奥多摩湖…六ッ石山…三ノ木戸山…奥多摩駅(歩程約7時間)

◎ 4/29(昭和の日) 日の出山～奥の院～鍋割山(シロヤシオ咲く奥の院)

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合

コース 五日市駅＝日の出山登山口…日の出山…御岳山奥の院…鍋割山…城山…鳩ノ巣(歩程約7時間)

◎ 5/18(日) 芦ヶ久保～二子山往復

西武線芦ヶ久保駅前 8:00 集合

コース 芦ヶ久保駅＝水場＝雌岳＝雄岳＝富士浅間神社＝芦ヶ久保駅(歩程約5時間)

III. 申し込み後のキャンセルについて

申し込み締め切り後、催行予定の概ね一週間前迄には、申込者に参加の可否についてお知らせ致します。申し込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、参加申込者に連絡します。

IV. 日のハイ通信について

◎ バックナンバー

右の二次元コードからこの9号をはじめ、今まで発行済みの「日のハイ通信」をカラー版で閲覧可能です。

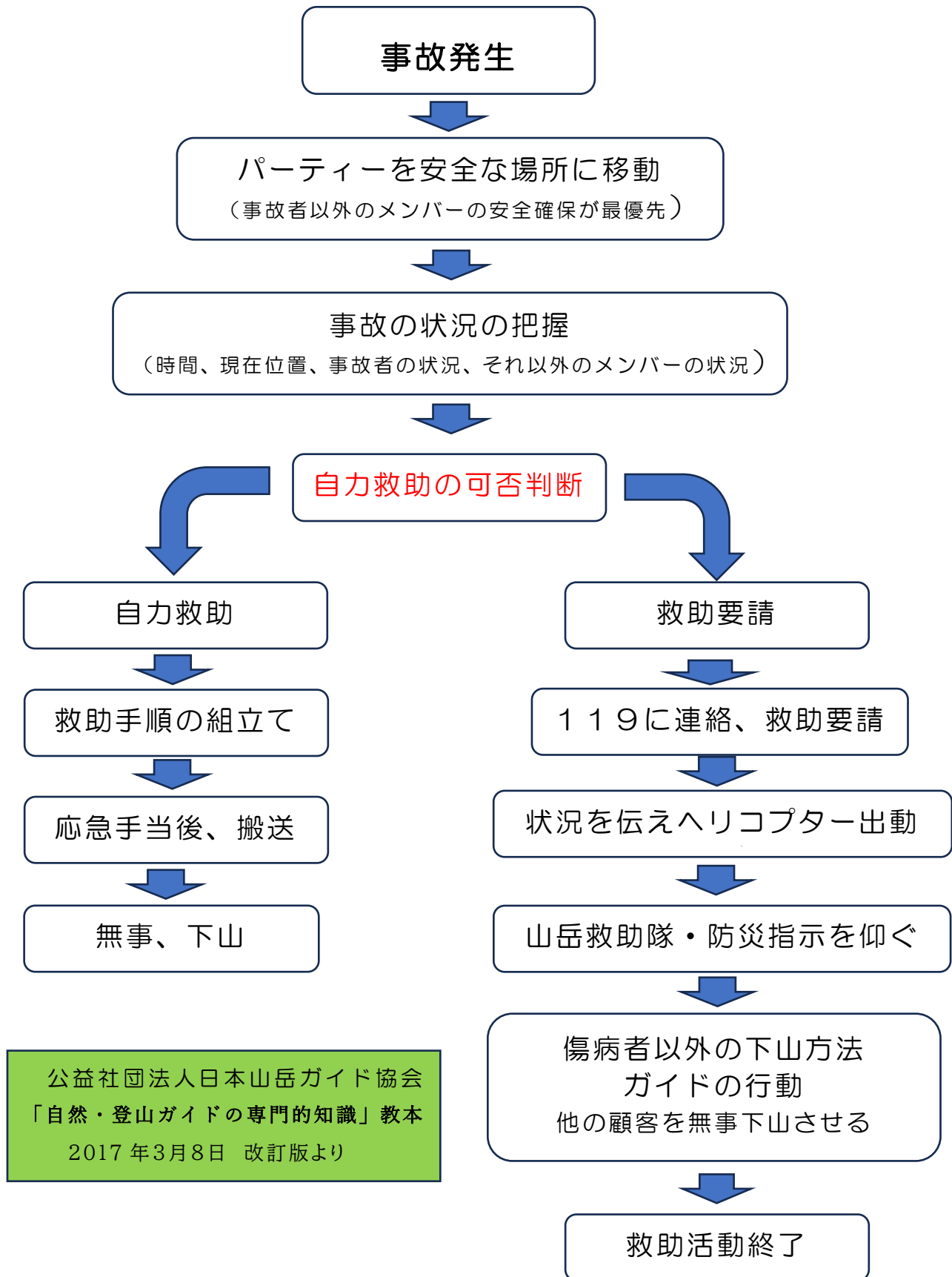


◎ 日のハイ通信に関するご意見等は下記へ

Email: mk.3193@outlook.jp

日の出町ハイキングガイドの会会長石川剛苑

「事故発生どうする」



公益社団法人日本山岳ガイド協会
「自然・登山ガイドの専門的知識」教本
2017年3月8日 改訂版より

ガイドは、事故発生時の状況判断を的確に行い、顧客が負傷していた場合は、軽傷であっても極力自力搬送、自力下山は避けるべきである。下山路のコース状況、顧客の体力、その他の顧客の協力などを考慮し、判断を下す。ただし救助隊を、待つより下山する方が早い場合はその限りではない。